

# 令和二年度文学の散歩道 入選作品

## 【短歌の部】

大賀ハス梅雨の晴れ間に桃色のつぼみを伸ばす古代絵のよう 守山市 小島 京子  
ゆうすげの群生ありてしゃがむれば伊吹の山に大鷲が舞う 小南 木楽蜻蛉  
踏石に置かれしままの男下駄春の日ざしの温もり受けて 高木 ころん



## 【俳句の部】

花冷えや目深帽子に川面風 西河原 中山 博  
間引菜を主役に入れる朝の汁 近江富士 中村 城啓  
なずな打つ天気予報は風強し 守山市 小島 京子

## 【川柳の部】

給付金手にするまでの夢ごこち 近江富士 中村 城啓  
神よりも薄い段差に蹴躓く 小南 木楽蜻蛉  
コロナ禍で慶弔儀式様変り 小南 脇坂 洋子

## 【冠句の部】

絶好調 令和の星となる羽音 高木 めだか  
靴の音 新たな旅路勇み立つ 小南 脇坂 洋子  
里の風 憧憬今だ去り難し 小南 よし笛



## 【情歌の部】

意地を張らずに考え直す見せた涙は嘘じゃない 小南 よし笛  
肩を揉む手と揉まれる顔がのんびり絵になる日向ぼこ 小南 木楽蜻蛉  
軽いときめきから始まった初恋気付かぬ佟進む 三上 雨蛙

